

## 研究・活動報告書の発行にあたって

せたがや自治政策研究所は平成 19 年 4 月に活動を始め、本年 4 月で 10 年目を迎えました。これまで、当研究所では「調査・政策研究の推進」、「情報資産の整備と活用」、「政策立案の支援」、「人材育成の促進」という 4 つの役割を軸とした取組みを展開しつつ政策形成基盤のさらなる強化を目指してまいりました。

研究所に与えられた責務は、地域の諸課題を区民との協働によって解決し、区民主体のまちづくりを実現することをめざして、中長期を展望した調査・政策研究を実施し、成果を区民と所管課に還元し、政策形成の基礎をつくるとともに、知のネットワークを形成し地域生活の質を高めることにあります。なかでも調査・政策研究機能の充実が研究所にとりまして最も重要であると考えています。

27 年度の調査・政策研究では、「世田谷区における市民活動の展開」、「母親の社会参加と子どもの教育に関する調査研究」、「世田谷の地域特性の析出」、「『世田谷区データブック 1』について」、「地方創世期における『地域経営人材』の可能性～DMOを契機として」の 5 つのテーマを掲げて展開いたしました。

「世田谷区における市民活動の展開」では、市民活動を展開・継続・発展させる要因と地域の条件との関連を探るため、活動団体への直接のヒアリングを通じ、論点を整理いたしました。「母親の社会参加と子どもの教育に関する調査研究」では、母親の就業状況や社会への参加状況、子どもの教育に関わる現状を明らかにし、地域への参加や子どもの進学等との関係性について考察しました。残る 3 つの研究についても、それぞれ有意義な成果を挙げております。

平成 28 年度は「家族」を調査研究のテーマに取り上げます。現代の社会情勢や経済状況の変化に伴い、人々のライフスタイルや働き方が多様化するとともに、家族のありようも多様化しています。超高齢化や少子化を背景に、家族にかかわる諸問題が社会的課題として認識されるようになってきました。そこで、「家族観」、「結婚観」、「ライフスタイル」をキーワードに、家族に関する区民の意識等を調査し、結果を政策研究に反映させてゆく予定です。

これらを通じまして、区民の方々への発信、所管課との協力関係をさらに進めてまいる所存です。今後も当研究所への変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

せたがや自治政策研究所所長  
森 岡 清 志

## 目次

### I 研究報告

1	世田谷区における市民活動の展開	1
2	母親の社会参加と子どもの教育に関する調査研究	25
3	世田谷の地域特性の析出	79
4	「世田谷区データブック1」について	105
5	地方創世期における「地域経営人財」の可能性～DMOを契機として	147

### II 活動報告

1	せたがや自治政策研究所の運営	179
2	政策立案支援	185
3	人材育成と情報の収集・発信	193

#### 【資料】

1	せたがや自治政策研究所関連の規則・要綱	207
2	組織図と事務分掌	214
3	運営体制	215
4	調査・政策研究メンバー	216
5	研究所の主な動き（直近5年間）	217
6	これまでの研究テーマ	218
7	予算	218
8	都市シンクタンク等一覧	219